

修文錬武

日本空手協会市川支部

令和4年
第5号
6月29日

第47回千葉県空手道選手権大会

5月3日、船橋アリーナ

○入賞者【組手の部】▽小学2年男子
〈敢闘賞〉佐藤恵、女子〈敢闘賞〉石
毛杏奈▽小学3年女子〈敢闘賞〉水上
絢愛▽小学5年女子〈敢闘賞〉鶴岡南
▽小学6年女子〈敢闘賞〉萩原莉子▽
一般女子〈敢闘賞〉西村海音

【形の部】▽一般女子〈3位〉三須晴
香、〈敢闘賞〉西村海音。以上の者は「千
葉日報」5月25日版に名前が載って
いる。コピーあります。

○出場者▽小学1年、山本權豊、ア
チャリヤ・パリサ▽小学2年〈男子〉中
島喜一郎、佐藤恵〈女子〉安田ゆづ▽
小学3年〈男子〉長谷川新太、川本慶、
川畑仁〈女子〉水上絢愛▽小学5年〈男
子〉佐藤謙〈女子〉鶴岡南▽小学6年
〈男子〉山岸大芽〈女子〉萩原莉子▽
中学1年〈女子〉高部怜美、▽中学2
年〈男子〉佐藤光、萩原健太▽高校〈男
子〉高部恵大▽一般〈男子〉石岡怜〈女
子〉西村海音、三須晴香計20名。皆
さん頑張りました（敬称略）。



令和4年5月3日、千葉県大会役員、
選手（一般、中学生）船橋アリーナ

指導法について

段級の他に資格がある。指導、審査、
審判の三つで、二段取得D級、段を重
ねることにCからAへと。3Aへは七
段取得まで続く。そこまでは24型を
覚え、こなせれば良い。初段から七段
までストレートで27年かけて、合間
に取得をめざす。

技術も大事ながらメンタルな面で
の習得を大事とする。特に指導は人を

育てる意味で重要である。30年近く
をかけて3Aとなったとしても、なに
があるってもものでもない。人を育てな
がら、同時に自己研鑽に励むと言うこ
と。

大学で空手をやってきて、就職する
やほとんどの人が空手と縁が切れた。
そう知ったのは最近である。私は19
66年4月卒業時、当時水道橋の総本
部に伺うや中山先生から「三重」の四
宮君か、これからが大事と言われた。
就職浪人で、翌年1月千葉県の義務
制教員に採用される。高校教員として
は、次の年で、68年4月に習志野高
校赴任となる。そこに空手道部を創設
する。一気に教育法とは、になる。

七段取得のため毎土曜日午後、半年
間総本部に通う。なんと世界の覇者田
中先生の個人指導であった。年齢59、
翌年3月定年である。

7月予定表2日（土）第1回定期昇
段審査会、支部長会議、佐倉市民体育
館 9日（土）〜10日（日）第64
回全国空手道選手権大会、武蔵野の森
総合スポーツプラザ 21日（木）〜
24（土）支部特別練習会、級審査会
30（土）〜31（日）第64回小中
全国空手道選手権大会、群馬県高崎ア
リーナ

歳時記梅雨の晴れ間を五月晴れと

言う。どうして今6月なのに5月なん
だろう。そこまでは知らない。旧暦と
新暦が入り交ざっている。旧暦には1
2か月の他に、24の「節気」と言う
のがある▼6月は1「芒種」、2「夏至」
とあり、1「ぼうしゅ」稲や麦などの
穂の出る植物の種をまく頃のこと（パ
ソコン）、とある。2の「げし」は冬至
（とうじ）の反対、陽（ひ）が一年で
一番長い。北極圏では「白夜（びやく
や）」となる▼英国の太田先生と久々
にラインがつながる。陽の長く、増し
て梅雨のないヨーロッパは、この時期
は空手行事の活動期となる。総本部か
らの「JKATピックス」5月の今村
副主席師範の記事である▼英国セナ
1、250人の会員指導である。指導
は6人、同行の本部派遣1名、ベルギ
ーのS先生、他。マスクをしているの
は、日本からの二人だけ。ウクライナ
からの避難の子供も交じっている、と
▼夏至は6月21日。7月の節気は夏
至の15日後、7日の小暑、23日大
暑。梅雨明け後、一気に世界一暑い日
本の夏が来る。本来、日本の暦は旧暦
で、新暦より一ト月遅れであった。五
月は「さつき」、五月女は「さおとめ」

空手発祥の地 ちむどんどん

沖繩復帰(1972年)50年の今年、nhk朝の連続TVドラマは沖繩本島、山原(やんばる)地方のその頃を舞台にする。まず沖繩方言である。「沖繩」はウチナワ、場合によってはウチナーの音である。

それだけで言葉がわからないと嘆いてはいられない。空手用語の中にウチナワグチ(言葉)はいっぱいある。なんで「オ」じゃあなくて、「ウ」なんだがわかれば済むことである。

昭和60(1985)年、本土復帰13年でしかない。インターハイ全国大会は沖繩県那覇市であった。赴任校市川西(現昂)高校はその年創設で、空手道部も出来立てであった。当然大会出場選手も出来ていなくて、県専門部委員長としての派遣である。

1週間の逗留で、当時の遅れた文化、言葉の通じない偏見が一変した。文化の違いは良い意味で日本の奥深さを体験し、辺境の方言は新鮮味と変わった。

成長した長男賢秀は「遊び人」としてとらえられている。ぎよろつとした目玉をトレードマークに、ミンタミー(目玉)と呼ばれた実在の人物を演じ

ているらしい(竜星涼)。沖繩復帰(72年)までは終戦直後の「本土(やまと)」と同じ状況下。

『修文錬武』第4号裏「春は大阪から」にあるように、「母は」「小湊に疎開する。」2歳児、私の見た夜、房総上空をボーイング29の大型戦闘機の編隊。防空壕に避難する母の背。45年3月10日、5月25日の民間人を巻き込んだ東京大空襲である。

その45年、沖繩戦の終わった慰霊の日は今6月23日。しかし、沖繩は今まだ占領下にある。全国の米軍基地の7割が集中している。ウクライナ侵攻でも民間人を巻き込んだ、戦争犯罪が行われている。「うちなんちゅう」「みんなみー」ともウ、イ段で、エ、オ段がない。

部活クライシス早い梅雨明け

火、木曜日5時からの練習は、どちらか一回としている。コロナ禍でなければ、土日と週4回まるまるでも良い。火、木は、どうしても同じレベルでの繰り返しとなる。土、日は人数も多く、ハイレベルな指導、互助作用がある。6月25日(土)前日まで、胃部のむかむかがあり、夕に病院に駆け込む。検温、血圧、栄養剤の注射、心電図、

上半身レントゲン検査、最後に点滴を受けた。翌日は梅雨明けのような夏日である。トタン屋根の小学校小体育館はさぞ熱いだろう、早くも熱中症の心配をする。正面左前あたりの日差しを避け、準備体操。

出席者、石割、石岡、三須、各二段。山中、上地、山岸、佐藤、各初段。黒帯6人、まあまあの陣容である。それに大人の茶帯、平山、佐藤美智子、小林、小5鶴岡、紫帯、山本、太田、大平(敬称略)の7人が加わり、以下主に小学生白帯9人、計22名。

対面での突き、受け、蹴り。初心者と別れての型、組手。

あの胃部のむかむかは何だったんだろう。急な暑さによる脱水症状だろうか。

日曜日、上級者、道場。中級、初級者、公民館1階工芸室、共に9時半から。道場は昨日の小体育館と同じ、三須二段の準備体操から。総本部春、秋の合宿で体得の空手体操である。

村越四段、三須二段、田淵、山岸、高校生、高部、松田、中学生、上地、小学生、山岸、初段、以下、高部、平山、池田、賈、小林、李、鶴岡(敬称略)、計25名。

基本の後、型「燕飛」37挙動中、



世界大会覇者、田中先生の組手

最後の右掌下段押し出し(甲下向)、左掌上段つかみ受(掌斜上向)、右前膝屈立、「左回転飛」、右手刀受け、後屈立。「観空大」65挙動中、矢張最後の右足前左足後ろの前屈立からの中段、上段の「二段蹴り」、右手前の交差受けからの「裏拳縦回打」。

組手は自由組手のみ。相撲用語では「掛かり稽古」。構えは内にあつて、外になし。「ウチナー口(言葉)」で、燕飛はワンシユ、観空大はクウシヤンクーの呼び名。開祖船越先生は早くにヤマト語に変えている。

部活は以前から、道場での空手「社会体育」と並行してある。観測史上最も早い梅雨明け、6月27日だった。